

利府の新しい交流拠点

利府町文化複合施設建築工事

建築だより 創刊号

(令和元年11月発行)

利府町文化複合施設は、町の新しいブランド力になる豊かな文化を育む交流の拠点として整備を推進しております。完成まで楽しみにお待ちください。



作成：利府町役場 文化複合施設推進室
株式会社佐藤総合計画
五洋・小板橋特定建設工事共同企業体

1. はじめに

利府町文化複合施設は1期：公民館機能・図書館・小ホール、2期：郷土資料館・大ホールで構成される施設で、今回はその1期工事となります。

利府街道に面する大きな屋根下空間となるアトリウムでの活動が賑わいとして町に広がるような計画となることをコンセプトとし、それを具現化する「エコツリーや自然エネルギーの活用」などが特徴となる施設です。

利府町では、町の新しいブランド力となり豊かな文化を育む町民の交流の場となるよう、施設の計画を進めてきました。令和元年7月には工事の起工式が執り行われ、10月からは本格的な工事がスタートしました。整備を担当している利府町文化複合施設推進室では、この『建築だより』を通じて工事の様子や施設への思いをお伝えすることで、施設を身近に感じていただき、完成後にはたくさんの方に利用して欲しいと願っております。

定期的に発行していきますので、ぜひご覧ください。

2. 工事に携わる関係者の紹介

【設計監理者】(株)佐藤総合計画東北オフィス

(株)佐藤総合計画は昭和20年創立の一級建築事務所で、本社は東京の両国にあります。創始者：佐藤武夫氏は早稲田大学で教鞭を執る中、同大学の大隈講堂を手掛けたことや、建築音響学の日本における開拓者として、日光東照宮の「鳴竜」の現象を初めて科学的に解明したことで知られています。利府町文化複合施設を担当する東北オフィスは、仙台で設計活動を始めて今年で45年目となります。

◆近隣の主な作品：利府町役場、大崎市図書館（来楽里ホール）、シエルコム仙台、仙台市博物館

【施工者】五洋・小板橋特定建設工事共同企業体

利府町文化複合施設の建築工事は五洋建設(株)と(株)小板橋建設の共同企業体にて施工を行います。共同企業体（以下、JV）とは、ひとつの工事を複数の異なる企業が共同で事業を行う組織のことを言います。

◆五洋建設(株)：塩竈市魚市場、多賀城駅前再開発（TSUTAYA等が入る施設）の建設に携わっています。

◆(株)小板橋建設：町営葉山住宅、災害公営住宅等の建設に携わっています。

今回は五洋建設(株)と(株)小板橋建設の2社がJVを組み、利府町文化複合施設の建築工事に取り組みます。

利府町役場 文化複合施設推進室を中心に設計監理者・施工者が協力し、利府町文化複合施設が町民の皆様の豊かな文化の交流拠点となるよう工事を進めていきます。

3. 場内全景写真



着工前の建築現場の様子です。この大きな敷地の中に利府町文化複合施設が建築されます。工事の進捗を高台からの定点写真を交えながらご紹介していきます。

4. 工事にあたって

10月よりいよいよ本格的に利府町文化複合施設の建築工事がはじまりました。

これから建物が完成するまでの約1年半の間、町・設計監理者・施工者が協力し、地域住民の皆様と工事関係者の安全に最大限配慮しながら工事を進めて参ります。

完成後には多くの方々に快く利用していただける施設になるよう精一杯工事を進めて参ります。工事期間中の施工へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

利府町役場 文化複合施設推進室